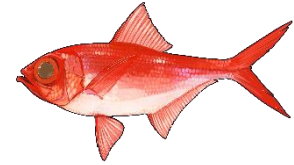


普及業績

神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸員(魚類担当) 和田英敏

2026年4月22日更新

展示9件, 普及的著作21件, 講師活動28件,
テレビ番組出演・監修等7件, 新聞取材・協力等17件



【展示】

9. 神奈川県立生命の星・地球博物館. 2025年度企画展「自然史アーカイブズをひらく」. 企画・展示・解説(実行委員メンバー). 神奈川県立生命の星・地球博物館(小田原市), 2026年2月21日-5月10日.
8. 神奈川県立生命の星・地球博物館. 2025年度ミニ企画展示「消える魚たち」. 企画・展示・解説(主担当). 神奈川県立生命の星・地球博物館(小田原市), 2025年9月13日-10月13日.
7. 東京大学総合研究博物館. ミニ企画展示「東京大学で見つかった田沢湖産クニマスの標本」. 展示・解説(実行委員メンバー). 東京大学総合研究博物館(東京都文京区), 2025年7月27日-8月1日.
6. 神奈川県立生命の星・地球博物館. 2024年度特別展「生命の星・地球博物館の30年 -120万点から厳選した資料で振り返る-」. 展示メンバー. 神奈川県立生命の星・地球博物館(小田原市), 2024年7月13日-11月4日.
5. 東京大学総合研究博物館. 2023年ホームカミングデー企画・標本から過去を知るハンズオンギャラリー, 絶滅した魚類の標本から当時の環境を知る. 企画・展示・解説(主担当). 東京大学総合研究博物館(東京都文京区), 2023年10月21日.
4. 東京大学総合研究博物館. 特別展示『魚学コトハジメ』. 企画・展示・解説(実行委員メンバー). JPタワー学術文化総合ミュージアム インターメディアテク(東京都千代田区), 2023年9月26日-2024年2月18日.
3. 神奈川県立生命の星・地球博物館. 2022年度ミニ企画展示「田中 猛氏により寄贈された現生サメ類の顎骨標本コレクション」. 企画・展示・解説(主担当). 神奈川県立生命の星・地球博物館(小田原市), 2022年7月1日-8月3日.
2. 鹿児島大学総合研究博物館. 薩摩半島の魚類 in 鹿児島大学. 展示・解説(実行委員メンバー). 鹿児島大学郡元キャンパス(鹿児島市), 2019年8月27日-9月13日.
1. 鹿児島大学総合研究博物館. 鹿児島大学総合研究博物館 第18回 特別展, 笠沙の魚たち. 展示・解説(実行委員メンバー). 笠沙恵比寿(南さつま市), 2018年7月1日-8月31日.

【普及的著作】

書籍

15. 藤原恭司・和田英敏・上島 励, 2025. 標本資料報告第 139 号 東京大学総合研究博物館動物部門所蔵 魚類標本リスト (4) . 東京大学総合研究博物館, 東京. v + 200 pp.
14. 和田英敏・小枝圭太・上島 励, 2024. 標本資料報告第 132 号 東京大学総合研究博物館動物部門所蔵 魚類標本リスト (3) . 東京大学総合研究博物館, 東京. v + 327 pp.
13. 和田英敏, 2024. クロサギ科・キス科の解説. 樋之口蓉子・田島奏一朗・是枝伶旺・本村浩之編, 改訂版: 錦江湾奥 干潟の生き物図鑑, pp. 40, 42. 特定非営利活動法人くすの木自然館, 始良.
12. 和田英敏, 2024. フデエソ科, オニアオメエソ科, クロアンコウ科, シロカサゴ科, ヒメキジチ科, キチジ科, イモリザメ, オキナワヤジリザメ, ハゲイワシ, フデエソ, オニアオメエソ, パラオイトヒキダラ, クロダラ, ペリカンアンコウモドキ, ホムラカサゴ, クロカサゴ, ヤセアカカサゴ, アズキカサゴ, シロカサゴ, アラスカキチジ, キチジ, ヒゲキホウボウダマシ, イソキホウボウ, チュラシマハナダイ, リュウグウノヒメ, トウヨウカマスの解説. 岡本 誠・本村浩之編, 日本の深海魚図鑑, pp. 15, 21, 41, 49, 53, 70, 86, 101, 102, 106, 107, 124, 129, 160. 山と溪谷社, 東京.
11. 和田英敏・小枝圭太・上島 励, 2024. 標本資料報告第 132 号 東京大学総合研究博物館動物部門所蔵 魚類標本リスト (3) . 東京大学総合研究博物館, 東京. v + 327 pp.
10. 和田英敏. 2023. シラウオ科・アユ科・シロカサゴ科・アカゴチ科・セミホウボウ科・キホウボウ科・ハリゴチ科・コチ科・ハナダイ科チュラシマハナダイ・アマダイ科・キツネアマダイ科・ムツ科・コバンザメ科・スギ科・シイラ科・ギンカガミ科・クロサギ科・ゴンベ科キリンゴンベ・イスズミ科・カゴカキダイ科・メジナ科・イボダイ科・マナガツオ科の解説. Pp. 93, 132, 136, 137, 147, 152–154, 163, 183, 194, 195. 本村浩之 (監修). 学研の図鑑 LIVE 魚 新版. Gakken, 東京.
9. 和田英敏. 2023. クロサギ科・キス科の解説. Pp. 37, 39. 樋之口蓉子・田島奏一朗・是枝伶旺・本村浩之 (編). 錦江湾奥 干潟の生き物図鑑. 特定非営利活動法人くすの木自然館, 始良市.
8. 和田英敏. 2022. アカエイ科・トビエイ科・イトマキエイ科・イットウダイ科・サヨリ科・トビウオ科・シロカサゴ科・クサウオ科・キントキダイ科・クロサギ科・カワハギ科の解説. Pp.18–21, 47–48, 62–67, 81, 88, 105, 138–139, 299–302. 岩坪洗樹・伊東正英・山田守彦・本村浩之 (編). 薩摩半島沿岸の魚類. 鹿児島水圏生物博物館, 枕崎市・鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島市.

7. Wada, H. 2021. *Gobiodon quinquestrigatus, Istigobius decoratus, I. goldmanni, I. nigroocellatus, I. ornatus, Macrodontogobius wilburi, Pleurosicya labiata, Priolepis nuchifasciata* (Gobiidae). Pp. 71–74. In: Motomura, H., S. Kimura, Y. G. Seah, S. T. Sheikh Abdul Kadir, and M. A. Ghaffar (eds). Reef and shore fishes of Bidong Island, off east coast of Malay Peninsula. The Kagoshima University Museum, Kagoshima.
6. Wada, H. 2020. Setarchidae, Apistidae, Haemulidae, Hapalogenyidae, Blennidae, and Nomeidae. Pp. 502–505, 823–838, 1106, 1185–1189. In: Koeda, K. and Ho, H.-C. (eds). Fishes of Southern Taiwan (Second Edition). National Museum of Marine Biology & Aquarium, Pingtung.
5. 和田英敏. 2020. シラウオ・ミナミメダカ・マゴチ・セダカダイミヨウサギ・シロウオの解説. Pp. 61, 66, 69, 75, 104. 本村浩之・山本智子・田金秀一郎 (編). 鹿児島県北西部 不知火海にそそぐ 高尾野川河口周辺の生きものたち. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島.
4. Wada, H. 2019. Setarchidae, Apistidae, Haemulidae, Hapalogenyidae, Blennidae, and Nomeidae. Pp. 502–505, 823–838, 1106, 1185–1189. In: Koeda, K. and Ho, H.-C. (eds). Fishes of Southern Taiwan. National Museum of Marine Biology & Aquarium, Pingtung.
3. 和田英敏. 2019. ノコギリザメ科・アカナマダカ科・リュウグウノツカイ科・ゴクラクギョ科の解説. Pp. 18, 38, 400. 本村浩之・萩原清司・瀬能 宏・中江雅典 (編). 奄美群島の魚類. 南日本新聞開発センター, 鹿児島.
2. 和田英敏. 2017. くちのえらぶコラム その魚にご用心! 危険な魚ってなんだろう? Pp. 67–69. 木村祐貴・日比野友亮・三木涼平・峯苔 健・小枝圭太 (編). 緑の火山島—口永良部島の魚類, 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島.
1. Koeda, K., Hibino, Y., Yoshida, T., Kimura Y., Miki, R., Kunishima, T., Sasaki, D., Furukawa, T., Sakurai, M, Eguchi, K., Suzuki, H., Inaba, T., Uejo, T., Tanaka, S., Fujisawa, M., Wada, H. and Uchiyama, T. 2016. Annotated checklist of fishes of Yonaguni-jima island, the westernmost island in Japan. The Kagoshima University Museum, Kagoshima. vi + 120 pp.

その他・教育普及的執筆

6. 和田英敏, 2025. “古標本”で遡る 100 年前の相模湾産魚類相. 自然科学のとびら, 31(1): 2–3.
5. 和田英敏. 2024. 『魚学コトハジメ』の展示資料について. Ouroboros, 東京大学総合研究博物館ニュース, 28 (2): 2–4.
4. 和田英敏. 2023. 日本の海産魚類相は 100 年前から現在までにどう変わった? —東京大学の魚類古標本コレクションから見えるもの—. Ouroboros, 東京大学総合研究博物館ニュース, 28 (1): 5–8.

3. 和田英敏. 2021. 総合研究博物館での研究を振り返って. 鹿児島大学総合研究博物館ニューズレター, 47: 9-11.
2. 和田英敏. 2019. 有毒魚類ツムギハゼに注意. 熊本野生生物研究会機関誌 SIGN POST, 34 (1): 11, 13.
1. 和田英敏. 2019. 【第 52 回会員研究発表会】研究発表の部 熊本県天草市近海から得られた熊本県初記録を含む魚類. 熊本野生生物研究会機関誌 SIGN POST, 34 (1): 3-4.

【講師活動】

28. 益田一顕彰委員会. バックヤードツアー. 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, 講師. 2026 年 1 月 14 日.
27. 神奈川県立生命の星・地球博物館. もっと魚を知りたい人のための魚類学講座. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, 2026 年 1 月 5 日.
26. 益田一顕彰委員会. バックヤードツアー. 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, 講師. 2025 年 12 月 13 日, 2025 年 12 月 16 日.
25. 益田一顕彰委員会. バックヤードツアー. 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, 講師. 2025 年 12 月 13 日.
24. 社会福祉法人共育ちの会 つかはらちびっこ共育園. 地引き網実習. 講師. 梅沢海岸（二宮町）, 2025 年 11 月 15 日.
23. 東海大学生物部. 卒業研究基礎. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, 2025 年 11 月 1 日.
22. 神奈川県立生命の星・地球博物館. 川と用水路の生き物を調べよう. 補助講師. あつぎこども森公園・荻野川（厚木市）, 2026 年 10 月 5 日.
21. 日本魚類学会・若手の会. Web 市民シンポジウム サカナ×???? “魚類学” の多彩なアプローチ 7!! 「自然のタイムカプセル―“古標本”で甦る, 100 年前の日本の海」. 講師. オンライン (Zoom), 2025 年 9 月 27 日.
20. 合同会社吉本アートファクトリー 海洋研究 3D スーパーサイエンスプロジェクト運営事務局. 海洋研究 3D スーパーサイエンスプロジェクト. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, 2025 年 9 月 15 日.
19. NPO 法人暮らし・つながる森里川海. 平塚新港「海のお魚調べ（岸壁採集）」. 講師. ひらつかタマ三郎漁港（平塚市）, 2025 年 9 月 7 日.
18. 田子漁港イベント「レア魚釣り&クルージング」. 講師. 田子漁港（西伊豆町）, 2025 年 7 月 18 日.

17. 北里大学海洋生命科学部. 博物館学「情報・メディア論」. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, 2025年7月12日.
16. 日本さかな専門学校. 標本と解剖に関する講義「自然史博物館の概要と役割」. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, 2025年7月9日.
15. 神奈川県立生命の星・地球博物館 友の会. 第142回サロン・ド・小田原「“古標本”により甦る100年前の相模湾の魚類相」. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, 2025年1月11日.
14. 観音崎自然博物館. カムズ!海淡フォーラム「録音厳禁!禁断のバラエティ」. ゲスト. 観音崎自然博物館（横須賀市）, 2024年11月16日.
13. NPO 法人暮らし・つながる森里川海. 平塚新港「海のお魚調べ（岸壁採集）」. 講師. ひらつかタマ三郎漁港（平塚市）, 2024年10月12日.
12. 神奈川県立生命の星・地球博物館. 川と用水路の生き物を調べよう. 補助講師. 和田河原駅周辺（南足柄市）, 2024年10月6日.
11. 株式会社釣りビジョン. 熱愛!サカナ図鑑「カサゴ編」. 講師（番組収録）. フジ・エスティート新宿第一ビル7F（新宿区）, 2024年8月28日.
10. 北里大学海洋生命科学部. 博物館学「情報・メディア論」. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, 2024年7月27日.
9. 日本さかな専門学校. 標本と解剖に関する講義「自然史博物館の概要と役割」. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, 2024年6月21日.
8. 日本さかな専門学校. 標本と解剖に関する講義「自然史博物館の概要と役割」. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, 2024年6月18日.
7. 日本魚類学会・若手の会. Web 市民シンポジウム サカナ×???? “魚類学”の多彩なアプローチ「どう見分ける?どう位置付ける?分類学〜シロカサゴ科からわかったこと〜」. 講師. オンライン (Zoom), 2024年6月15日.
6. 東京大学総合研究博物館. 魚學コトハジメ 特別講演会「岸上鎌吉と魚学」. 講師. JPタワー学術文化総合ミュージアム インターメディアテック（千代田区）, 2023年12月1日.
5. 神奈川県立生命の星・地球博物館 魚の会. 令和5年度第1回講演会「謎多き“汎世界分布種”ーシロカサゴから読み解くグローバルコンベアーベルトによる輸送システムー」. 講師. 神奈川県立生命の星・地球博物館（小田原市）, 2023年5月21日.
4. 東京大学総合研究博物館. ソトラボ第7回 魚類トーク「“古標本”が語る100年前の日本の魚類相」. 講師. 東京大学総合研究博物館」. 講師. 東京大学総合研究博物館・小石川分館（文京区）, 2023年3月27日.

3. かがしま環境未来館. かがしま環境未来館・鹿児島水圏生物博物館合同市民講座「チリメン生物図鑑」. 副講師. かがしま環境未来館（鹿児島市），2020年8月9日.
2. 鹿児島市平川動物公園. 五位野川生き物観察会. 採集された生物の解説. 鹿児島市平川動物公園（鹿児島市），2019年8月5日.
1. 宮崎県自然保護推進委員会. 自然保護推進員大会 活動報告「準絶滅危惧種セダカダイミョウサギの調査観察 ―付録：近年宮崎で確認された魚たち―」. 講師. 宮崎県庁（宮崎市），2017年10月14日.

【テレビ番組出演・監修等】

7. ギョギョっとサカナ★スター. クロサギ. NHK Eテレ，2026年4月17日，19:25-19:55（監修）
6. ワールド極限ミステリー. キスする魚 カット. TBS，2024年10月2日，18:30-21:57（出演）
5. ザ・バックヤード 知の迷宮の裏側探訪. NHK Eテレ，2024年7月17日，22:00～（出演）
4. ワールド極限ミステリー. ちっちゃいゴンズイ玉・砂漠に現れた謎の川 カット. TBS，2024年7月3日，21:50～（出演）
3. 第8回 研究と博物館情報・メディア（45分番組）. In 放送大学授業番組『博物館情報・メディア論』（全15回シリーズ）. ゲスト出演・情報提供. BSデジタル231ch, 232ch, 放送大学HPキャンパスネットワーク，2024年4月1日-2029年3月31日（リピート放送）.
2. 鹿大 薩摩半島沖深海 2種類のカサゴ新たに発見. 情報 WAVE かがしま. NHK 鹿児島，2021年3月16日，18:10～（出演）
1. 鹿大院生が国内初確認 カサゴ研究 100年の歴史覆す. MBC ニュースナウ，2021年3月3日，18:15～（出演）

【新聞取材・協力等】

17. おしえて さかなクン，一期一会をしっかりと記録に！！. 朝日小学生新聞，2026年1月24日.
16. おしえて さかなクン，ヒメクサアジちゃんと貴重な出会い. 朝日小学生新聞，2026年1月17日.
15. 新種のハゼ発見 和名に「イズ」 高瀬さん 富戸沖で撮影、採取 「うれしい、誇り」―伊東. 研究成果報道. 伊豆新聞デジタル，2022年12月1日.

14. 手足のようなひれで「歩く魚」 ピエロカエルアンコウ 沖縄美ら海水族館が日本で初確認. 沖縄タイムス, 2022年8月10日
13. 伊豆で国内初の採種 キンチャクダイ科魚類「アベイエンゼル」 海中にもジオ環境広がる—伊東. 研究成果報道. 伊豆新聞デジタル, 2022年2月26日.
12. アカカサゴと100年間混同の2種 別種カサゴと確認. 鹿大院・和田さん、英文誌に掲載. 南日本新聞, 2021年3月4日.
11. 世界でも珍しい種イトマンオオキンギョ 日本で4カ所目の記録. 南海日日新聞, 2020年6月19日.
10. 沖縄の美ら海水族館でまたも世界初展示 琉球列島固有の深海魚. 沖縄テレビ, 2020年2月5日.
9. 目がくりくり、愛くるしい姿 世界初、新種の深海魚を展示 美ら海水族館で「チュラシマハマダイ」. 琉球新報, 2020年2月5日.
8. 新種だった…美ら海水族館で別名展示された時期も. 沖縄タイムス, 2020年2月5日.
7. ハタ科の魚 実は新種／チュラシマハナダイ／美ら海水族館 鹿大研究で判明. 沖縄タイムス, 2020年2月4日
6. 初確認 ビッグな「ヨコヅナ」鹿児島. 読売新聞, 2019年8月15日.
5. 大型アジ「ヨコヅナマルコバン」 笠沙沖で発見 大相撲ファンの鹿大院生命命名. 南日本新聞, 2019年7月25日.
4. ハタ科の新種発見. トカラ近海で赤い網目模様. 朝日新聞, 2018年12月15日.
3. 十島に新種のハタ. 南日本新聞, 2018年12月13日.
2. 新種のハタの仲間発見. 鹿大総合研究博物館「アヤマイズハナダイ」と命名. 奄美新聞, 2018年12月13日.
1. トカラ海域で新種の魚類発見. 前川氏にちなみ命名. 南海日日新聞, 2018年12月13日.

【その他教育普及活動】

1. 神奈川県立生命の星・地球博物館. ミューズフェスタ 2026. イベント・魚のからだの不思議. 企画・運営. 神奈川県立生命の星・地球博物館 (小田原市), 2026年3月14-15日.